

氏名	木 下 日出男
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 614 号
学位授与の日付	昭和 49 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	非定形的白血病 (Hypoplastic Leukemia or Smoldering Acute Leukemia) に関する研究 第 1 編 対象症例の臨床的検討ならびに細胞遺伝学的検討 第 2 編 骨髓における白血病細胞の大きさ, $^3\text{H}$ -Thymidine による <i>in vitro</i> 標識率ならびに臨床骨髓培養所見の検討
論文審査委員	教授 大藤 真 教授 妹尾左知丸 教授 小坂 淳夫

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

- 第 1 編 Hypoplastic Leukemia または Smoldering Acute Leukemia に相当する最近の非定形的白血病の自験例 7 例について臨床的検討を加えた結果, 50 才以上の男性で, 急性骨髓性白血病に多く, 臨床的所見に乏しく, 末血中の芽球は低率で, 骨髓は低形成像を示し乍ら高率に芽球を認め, 経過の緩慢なものが大部分であった。かゝる症例の骨髓における白血病細胞の染色体分析を行なったが, 全例に共通な染色体異常は認められず, 臨床経過との間に有意の相関は見出し得なかった。従って非定形的白血病の特異な病像は白血病細胞の細胞遺伝学的要因のみにより支配されていることは考え難い。
- 第 2 編 非定形的白血病の骨髓における白血病芽球の大きさならびに  $^3\text{H}$ -Thymidine 標識率は定形的白血病のそれに比し小型で,  $^3\text{H}$ -Thymidine 標識率が低いこと, 臨床骨髓組織培養所見は定形的白血病にやゝ近似するが原組織内に多数の脂肪細胞を認め, 増生帯細胞密度が低いことを認めた。以上の所見から, かゝる非定型例の白血病芽球はいわゆる Dormant Cells に相当するものでこれがその緩慢な臨床像の形成に密接な相関を有するものと考えた。

#### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は, 非定形的白血病に関して臨床的, 血液学的に研究したものであるが

従来十分研究されていなかったこの分野について重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。